

当面の東南アジアからの訪日促進プロモーション概要
(2013年1月～3月)

1. 大規模旅行博覧会等における40周年キックオフ出展

① 大規模旅行博覧会へのブース出展（計約6万人集客見込）

以下の大規模旅行博覧会へ日本ブースを出展します。40周年訪日プロモーションのキックオフを飾るとともに、在外公館や出展団体等と連携し、オールジャパンでの訪日プロモーションに取り組みます。

開催都市・イベント名称	開催時期	日本ブースへの集客見込	セミナー・商談会
バンコク・TITF	2013年2月14日（木）～17日（日）	40,000人	有
マニラ・TTE	2013年2月15日（金）～17日（日）	9,000人	無
シンガポール・NATAS	2013年2月22日（金）～24日（日）	9,000人	無
クアラルンプール・MATTA	2013年3月15日（金）～17日（日）	6,000人	有

② 日ASEAN友好協力40周年展示会「TOHOKU Experience」（外務省主催）

ASEAN本部が所在するインドネシア・ジャカルタにて2013年1月12日（土）～27日（日）に開催される展示会「TOHOKU Experience」に、訪日促進PRブースを出展します。同展示会では、主に東北地方の復興状況や魅力を発信します。

※日本ブランド総合発信事業のFacebookが2013年1月9日～3月下旬に開設され、レセプション・展示会の紹介、東北被災三県（岩手県、宮城県、福島県）の魅力が発信される予定 <http://www.facebook.com/ASEAN.Japan.40th>

2. 現地旅行会社及び進出日系企業との共同PRの展開

① 現地旅行会社との共同PRの展開

東南アジア各国の訪日旅行商品を取り扱う旅行会社計約60社と連携し、現地にて、訪日旅行商品の販売促進のための共同広告（新聞広告等）を展開します。

タイ	20社程度
シンガポール	10社程度
マレーシア	10社程度
インドネシア	10社程度
ベトナム	10社程度

② 東南アジア進出日系企業との官民連携PR

東南アジア各国において露出度の高い日系企業と連携し、人気の日本コンテンツを活用した消費者向け訪日促進プロモーションを展開します。

日本食チェーン「牛角」	2012年11月～	ASEANに5店舗
日本語教材「みんなの日本語」	2013年1月～	日本語教材の販路を活用して、日本語学習者へ観光小冊子を配布（3.7万部）
「三越伊勢丹」	2013年1月～	ASEANに10店舗

3. 訪日旅行商品の企画・造成の促進（現地旅行会社等の招請）

東南アジア各国の春季～秋季の訪日旅行商品の造成を働きかけるため、タイ・シンガポール・マレーシアの旅行会社等から、訪日旅行商品の企画・造成・販売担当者等を合計で約60名（予定）招請します。

国	実施時期	人数	コース
タイ	2013年1月20日（日）～26日（土）	24名程度	北海道
シンガポール	2013年1月27日（日）～31日（木）	10名程度	北関東・東京
マレーシア※	2013年1月29日（火）～2月3日（水）	25名程度	横浜・東京・仙台

※ マレーシアについては、招請に合わせてセミナー・商談会・意見交換会を開催予定。

4. ムスリム観光客に対応した受入環境の整備

① ムスリム観光客向けガイドブックの作成・配布

日本ハラル協会、日本ASEANセンターの協力を得て、ハラル対応レストラン、祈禱所情報を盛り込んだ冊子を作成中。2013年1月以降配布予定。

② 「ムスリム受け入れ対応セミナー（仮称）」の開催（主催：観光庁・JNTO）

東南アジア・ムスリム市場からの誘客・受入体制整備の重要性を確認するとともに、同市場の今後の可能性や受け入れにあたり求められることを議論。

日時：2013年2月1日（金）（予定）

対象：自治体、旅行関係団体、民間事業者等

③ ASEANからのムスリム観光客受け入れセミナー（主催：日本ASEANセンター）

ハラルやイスラム教の基本的な規律に関する理解を深めてもらい、ムスリム観光客の受け入れ体制の充実を図ります。

期間：2013年1月～3月に2回程度開催予定

対象：自治体、旅行者、宿泊業者

5. ASEAN+3観光大臣会合

概要：ASEAN10ヶ国及び日本・中国・韓国の観光大臣等が一堂に会する年次会合です。この機会を活用し、ASEAN各国と日・ASEAN友好協力40周年を契機とした相互交流の促進についても意見交換を行う予定です。

場所：ラオス・ビエンチャン

日時：2013年1月21日（月）9:00～12:00